

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月26日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	定員に対して十分な机・椅子を用意し、状況によってパーテーションの設置と席を移動させ個別のスペースを確保しています。 スペースは感染拡大防止の観点からは十分とは言えませんが、利用時のマスク着用の徹底、常時換気、定期的な消毒により対応しています。	利用児童一人当たりの広さは法令基準を十分に満たしているため、活動に応じて席の配置を工夫し、より良い環境づくりに努めています。 また、感染防止については、岡山市の感染拡大防止策に基づいて、徹底した対応を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	基準よりも多い職員を配置し、療育に関わる職員は、全員が保育士資格などの有資格者で対応しています。 法令に従った配置ができているか、管理者・リーダー・運営全員で関わり、ミスのないように三重のチェックを行っています。	平日は、児童が同時間帯に多く集まることがあります、適切な対応人数になるよう、今後も人員の確保と共に、利用児童数に合わせ、更に人員を確保できるように努力してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、隣がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	室内に段差はなく、車椅子での移動には支障のない環境になっています。 また、玄関の段差には黄色テープを貼り、視覚的にも注意ができるように配慮しています。	事業所玄関前の段差は、必要な児童の利用が開始となる場合にはスロープの設置を検討を行い、全ての児童の活動や支援に支障がないように、環境の整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	毎日の清掃や、床・トイレの消毒を行っています。 クッションマットのスペースを作り、安全に利用できる空間になるように工夫しています。	今後も同様に清潔な空間の維持に努め、岡山市の感染拡大防止策に基づき、感染の予防にも努めてまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	毎日のミーティング、ケース会議、リフレクション会議などは、職責や年齢に関係なく課題があれば自由に話し合える場を設けています。 多くの視点から現状の把握に努め、振り返り、今後の方針を検討できるようにしています。	今後も職員の話し合いの機会を設け、PDCAサイクルに沿って課題点を話し合い、評価を行い、決断策を見出して業務改善に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	定期的にアンケートによる評価を実施し、またご相談があった場合は、その都度職員へ周知し、業務の改善に繋がるようにしています。	これからも頂いたご意見の検討を続け業務改善を行います。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	COMPASS 発達支援センターの公式Webサイトで公開し、保護者様等への周知させて頂いています。	今後も結果はWebサイトで公開し、サービスの向上や、改善に繋がるよう努めてまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	事業所内研修は月に1回以上は行い、外部研修の情報も逐一職員に公開しており、外部研修に参加した職員については資料等の情報共有を依頼し、資質の向上に努めています。	今後も月1回以上の事業所研修を継続し、外部研修に参加した職員については情報共有を行い、今後も資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	アセスメントを適切に行い、モニタリングや、面談等から得た情報を基に児発管、療育を担当する指導員や保育士による支援会議を行い、児童の課題と保護者様のニーズに、より即した計画の作成に努めています。	今後もモニタリングや保護者面談により、課題の見出しと一緒に実行ていきます。 複数の視点から適切なアセスメントを行い、保護者様の想いに最大限応えられる計画を作成できるよう努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	書類の統一と整備を行い、年齢や児童の状況に合わせたアセスメントツールを使用しています。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	保護者様との緊密な情報交換を通して、現在の課題の整理と、新しい課題の設定を踏まえ、ガイドラインの各項目から支援内容を設定しています。 また、支援内容はケース会議・支援会議で話し合いを行い、より具体的な支援ができる様に努めています。	今後も同様に保護者様との緊密な情報交換を通して、より具体的で適切な支援内容の設定に努めています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	保護者様との情報交換を通して設定した個別支援計画は、各職員が常に確認できる様、児童の療育ファイルにも添付しています。 また支援計画に沿った支援が行われているかを、児発管が適宜確認しています。	今後も療育にあたる職員の共通認識の下、常に計画に沿った適切な支援が行われるように努めています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	管理者・児発管・児童指導員・保育士など、様々な専門的な立場から意見を出し合い、児童の状況や、課題に応じたプログラムをチームで立案しています。	今後も様々な立場で意見を出し合い、活動プログラムの立案を行います。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	活動内容は、自社のカリキュラムに沿ったものであると同時に、課題に対するアプローチの仕方を変化させ固定化しないようにしています。	今後も定着化を図るために連続性の課題を中心とした長期休暇には、季節ごとのイベント等も取り入れながら、児童に合った内容を設定し、固定化することのないように努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	児童の特性や発達段階・年齢、保護者様のニーズに応じて、個別活動と集団活動を計画に組み込んでいます。	今後も同様に個別療育と集団活動を児童の特性に応じて支援計画に組み込み、支援計画を作成します。
	17 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	毎朝ミーティングを行い、その日の支援方針や内容について話し合いを行い、目的や注意事項を確認して、支援内容を決めています。	今後も毎朝ミーティングを行って、支援内容とその意味合い、注意事項などを話し合い、周知を図っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	支援終了後には当日の記録を取る中で気になった点などをすぐに児発管へ報告して、情報共有と、改善策について話し合い、不在職員にも翌朝のミーティングで周知しています。	今後も同様に支援終了後の振り返りと、職員間で情報共有を行っていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	日々の療育プランを必ず記録として残し、職員間で共有し、すぐに検討と改善ができるようにしています。	今後も同様に記録を残し、検証・改善に繋げていきます。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	6ヶ月以内に必ずモニタリングを行い、児発管と療育担当者、保育士と現状の児童の成長や、保護者様から頂いた情報等を加味しながら、支援計画の見直しを検討しています。	今後も継続して、保護者様との情報交換を密にとり、利用児童の成長に照らし合わせながら、一人ひとりの児童発達支援計画の更新には複数の視点で検討してまいります。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	担当者会議には児童の状況や変遷を最も把握している児発管や療育担当者が参加しています。	担当者会議は、継続して児童の状況に精通した者が出席します。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	関係機関とは日々の様子、困りごと、注意点や、目標などの共有・相談を行い、連携した支援ができるように努めています。	今後も情報共有と関係機関との連携を継続してまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあります、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあります、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	個人情報保護の観点から、保護者様から許可を頂き、支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図っています。	保護者様のニーズに合わせ、今後も関係機関と連携してまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	個人情報保護の観点から、保護者様から許可を頂き、支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図っています。	今後も保護者様からの許可を頂いた上で、関係各所へ情報共有を行い、相互理解を図ります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	紹介して頂いた専門機関へは定期的に訪問させて頂き、助言を受けています。 現在、感染拡大予防の観点から参加を控えていますが、岡山支援部会などにも参加し、連携や研修を行っています。	今後も同様に、積極的な連携を図ってまいります。
保護者への説明責任等	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	これまで地域の読み聞かせ会などへ積極的に参加しておりますが、現在は感染拡大防止のため、交流は控えております。	今年度は、感染拡大防止の観点から、外部交流は控えており、再開についても慎重に検討してまいります。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	これまで地域部会へ参加し、事業所の説明をさせて頂いていましたが、現在は感染拡大防止のため、参加は控えております。	今後は社会の情勢などを勘案し、慎重に参加を検討してまいります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	日頃より送迎時や家庭連携の際に、児童の様子や状況を保護者様と伝え合い、課題について共通理解を持つてるよう図っています。	今後もあらゆる機会に保護者様との情報共有を行い、保護者様に頂いた情報は職員間で伝え合い、共通理解を図ってまいります。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓）の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ペアレン特訓について図ることは、ご家庭の状況やニーズに合わせて行っています。 日頃から児童への対応についての相談を受ける際には、助言や意図もお伝えする様に配慮しています。	今後も保護者様への丁寧な聞き取りと助言は継続しながら、更に支援ができるよう努めています。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ご契約時や質問があった際にできるだけ丁寧な説明を行っています。 また、職員向けにも勉強会で周知を図っています。	今後も同様に丁寧な説明を継続してまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	6ヶ月以内にモニタリングを行い、都度、更新された支援計画について丁寧な説明を行い、同意を得たうえで署名を頂いています。	今後も同様に、定期的に支援計画を更新し、その都度、丁寧な説明を心掛け、同意を得ています。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ご相談やご質問については、日頃からコミュニケーションを取り、相談しやすい関係づくりを心掛けています。 定期的に保護者面談を実施し、相談には適切な助言と支援を行えるよう努めています。	今後も同様に相談やお悩みには丁寧に対応ができるよう心掛けます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	本年度は感染拡大防止の観点より、父母の会の活動支援や保護者会などは控えさせて頂いています。	今後は保護者様のご意向をうかがい、感染拡大予防のためモードでのオンラインでの会議の開催などを検討してまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについての体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	契約時にも体制についてご説明しておりますが、苦情などの相談窓口を設置しており、連絡を頂いた際には、その都度、適切に対応しています。	今後も同様にご相談や申し入れの対応は、引き続き丁寧かつ迅速に対応してまいります。
	37 定期的に会報等を発行し、活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	季節ごとに「COMPASSだより」を発行し、また公式Webサイトでは、最新情報の他、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されています。	今後も同様に「おたより」や、ブログを継続し、保護者様へサイトの情報をお知らせしてまいります。
非常時等の対応	38 個人情報の取り扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	写真掲載など個人情報に関わる場合には、保護者様への確認書面により同意を得ています。 また、個人情報の取り扱いは細心の注意を払い使用し、施錠できる書庫で保管しています。	今後も同様に個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	利用児童や保護者様の特性や状況に合わせ、十分に配慮・選択した情報伝達手段で意思疎通を行っています。	今後も情報伝達や意思疎通に十分配慮してまいります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現時点では、地域の方をご招待するなどの交流は積極的に企画するまでに至っておりません。	学習主体の支援形態であるため、時間配分への配慮が必要であること、また保護者様によっては通所を秘匿された方もおられるため、ご意向に沿って十分な配慮のもと、必要とあれば検討してまいります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	マニュアルは策定しており、室内の見やすい場所に掲示しております。 定期的に発生を想定した話し合いも職員間で行っています。	今後も継続し、同様に行ってまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	避難訓練は（訓練日に参加が可能な児童と共に）定期的に行っています。	今後も保護者様へ周知して頂くように努め、緊急時にも児童と職員が命を守る行動ができる様に、定期的な訓練と防災学習を継続してまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	契約時アセスメントにて保護者様から聞き取りを行い、児童のアレルギーと発作時の対応を確認、職員全員で周知徹底しています。	今後も常に児童の健康情報を更新し、継続して安全に配慮してまいります。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	契約時アセスメントにて保護者様から聞き取りを行い、児童のアレルギーと発作時の対応を確認、職員全員で周知徹底しています。	今後も常に児童の健康情報を更新し、継続して安全に配慮してまいります。
○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。	45 ヒヤリハット事例集を作成				